

青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸

【むつ湾シーサイドスクールプロジェクト2018】

実施期間：平成30年8月6日（月）～平成31年2月28日（木）



うみべん（海岸清掃編）外ヶ浜町観瀾山公園海水浴場で集合写真



うみべん（海岸清掃編）外ヶ浜町観瀾山公園海水浴場で海岸清掃



うみべん（植樹体験編）平内町茂浦で植樹体験



むつ湾まるごと大祭典でクルーザーヨットによるキツネメバルの稚魚放流

【事業の内容・目的】

- 豊富な水産資源を有するむつ湾にフォーカスした海の臨海学校「むつ湾シーサイドスクール」を戦略的に実施することで、青函連絡船「八甲田丸」が、今後地域における海の学び（海洋教育）の情報発信及び活動拠点になることを目指す。
- 青森が誇る天然の良湾「むつ湾」を学ぶということは、近くて遠い存在となっている「海」と「人」との距離を近づけることになる。また、本プロジェクトを通じて市民が海への愛着を取り戻し、市民ひとりひとりが豊かな海を次世代に引き継ぐことの重要性について認識することに繋げる。
- 2020年八甲田丸近隣に人工的な干潟が完成予定であり、その干潟に多様な生態系を生み出すための海藻草場・磯場の造成や管理、環境美化のためのゴミ拾い、さらにその干潟を利用したまちの賑わいづくりの事業などを担う人材の育成に繋げていく。

活動の様子

1. 海の勉強会(うみべん)2018 海岸清掃編

【開催日時】平成30年8月9日(木) 8:30 ~ 15:00

【開催場所】外ヶ浜町観瀾山公園海水浴場

【参加者数】91人(青森市・外ヶ浜町の小学生とその父兄:58人、NPO
法人あおもり若者クリエイトの高校生:13人、スタッフ:20人)

【活動内容・目的】

- むつ湾の保全についての理解を深めてもらうため、海岸清掃を行い青森海上保安部の保安官が講師になり、漂着ゴミと環境保全についての勉強会を実施した。
- むつ湾の水産資源について理解を深めてもらうため、弘前大学北日本新エネルギー研究所桐原教授が講師になり、むつ湾に棲息する魚の勉強会やアマモ・ワカメの生体系についての動画放映を実施した。
- むつ湾の水産資源を増加させるため、青森県の代表魚であるヒラメの稚魚を放流した。



海岸清掃の様子



海岸清掃の様子



漂着ゴミ



漂着ゴミ



漂着ゴミと環境保全についての勉強会



漂着ゴミと環境保全についての勉強会

むつ湾の保全についての理解を深めてもらうため、海岸清掃を行い漂着ゴミと環境保全についての勉強会を実施した。海上保安部の保安官が講師となり勉強会を開催したことで、どのようなゴミがどこから排出され、どういう経路で海岸に漂着するのか、また、海中のプラスチックゴミが水産動物に対していかに悪影響を与えているかなど、豊かな海を守ることの重要性について学ぶことができた。



むつ湾に棲息する魚の勉強会



むつ湾に棲息する魚の勉強会



むつ湾に棲息する魚の勉強会



アマモ・ワカメの動画放映

むつ湾の水産資源について理解を深めてもらうため、弘前大学北日本新エネルギー研究所桐原教授が講師になり、むつ湾に棲息する魚の勉強会やアマモ・ワカメの生体系についての動画放映を実施した。

むつ湾の水産動物の専門家から講義を受けることで、地元の海の豊かさや大切さを学び、参加者の海への興味関心を促した。



放流するヒラメの稚魚



ヒラメの稚魚の放流

むつ湾の水産資源を増加させるため、青森県の代表魚であるヒラメの稚魚を放流した。本活動を通して、地域の重要な産業となっている漁業に対する理解を深め、また子供達が直接稚魚を放流することで、栽培漁業を学びながら海や生き物などへの関心を高められた。

【参加者の声】

- どんどんヒラメが、生きつづけて、また、赤ちゃんを産んで、全滅しないで欲しいです。(8歳・男子)
- これから海を守りたいと思うし、自ぜんをずっと守りたいとおもいました。(10歳・男子)
- ゴミをすてたりすると生きものがしんでしまったりけがをしまったりするのできれいにしようと思いました。(8歳・女子)
- ゴミの影響で、人だけでなく海の中の生き物にも害があることを知ったので、これからもこのような活動を通して、ゴミと海の問題に関わっていきたい。(15歳・女子)
- やはり海は大切に、海を大切にすることが生き物を大切にするということにつながっていくのだと感じた。新鮮な海産物はおいしい。(18歳・男子)

2. 海の勉強会(うみべん)2018 植樹体験編

【開催日時】平成30年8月20日(月)8:30～17:00

【開催場所】平内町茂浦他

【参加者数】49人(青森市・平内町の小学生とその父兄:37人、スタッフ:12人)

【活動内容・目的】

- 豊かなむつ湾を後世に残すため、水源である山の環境保全を守るための植樹体験を実施した。
- むつ湾の水産資源について理解を深めてもらうため、ホタテについての勉強を実施した。
- 地引網体験を行い、むつ湾に棲息する魚種の勉強を実施した。
- むつ湾への関心を促すため、浅虫水族館でむつ湾の生態系をテーマにした水槽の見学を行った。



植樹体験の様子



植樹体験の様子



植樹体験の様子



植樹体験後の集合写真

豊かなむつ湾を後世に残すため、水源である山の環境保全を守るための植樹体験を実施した。山の環境を良くすることが、むつ湾の環境保全に繋がることを学んだ。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



ホタテについての勉強の様子

むつ湾の水産資源について理解を深めてもらうため、陸奥湾のホタテを高温から守る植樹祭実行委員会のメンバーが講師になり、むつ湾に棲息するもホタテの勉強を実施した。専門家から講義を受けることで、地元の海の豊かさや大切さを学び、参加者の海への興味関心を促した。



地引網体験の様子



地引網体験の様子

地引網体験を行い、むつ湾に棲息する魚種の勉強を実施した。地元の漁師さんから網の曳き方や地引網で獲れたむつ湾の魚の生態系について解説していただき、漁師さんの生の声を聞くことで、むつ湾の恵みの大切さを学ぶ良い機会となった。



浅虫水族館の見学の様子



浅虫水族館の見学の様子

むつ湾への関心を促すため、浅虫水族館でむつ湾の生態系をテーマにした水槽やホタテ養殖をテーマにした水槽を中心に見学会を行った。専門スタッフからの解説を聞くことで、地元の海の豊かさを学ぶことができた。

【参加者の声】

- しぜんのめぐみでみんなが生きてるということを感じました。(10歳・男子)
- 木が育って、木の葉が落ちて、その葉が栄養となって、地下水を通過して魚のえさになるので、植樹の大切さがよくわかりました。(12歳・男子)
- 海がきれいでなければ、生き物はどんどんいなくなっていってしまうので、海にごみを捨てないで、大切にしたいなと思いました。
- 家庭からのよごれが海にあって、今、海が危機的状況にあることを学んだ。一人一人が節電などしなくちゃと感じました。

3. あおもり10市大祭典 in 青森「むつ湾まるごと大祭典」

【開催日時】平成30年9月22日（土）・23日（日）

10:00～15:00

【開催場所】青森市・青い海公園

【参加者数】250,000人

【活動内容・目的】

- 会場内に海の勉強会（うみべん）2018海岸清掃編・植樹体験編の活動記録パネルを展示することで、青森市民のみならず青森県内外の観光客に対し、むつ湾の環境や生態系、漁業資源などを紹介する機会となった。
- むつ湾沿岸8市町村や浅虫水族館と連携し「むつ湾グルメコーナー」や「出張水族館」も同時に開催し、むつ湾の認知度向上に繋がった。
- むつ湾の水産資源を増加させるため、クルーザーヨットに乗船し沖合でキツネメバルの稚魚を放流した。



活動記録パネル展の様子



活動記録パネル展の様子

会場内に海の勉強会（うみべん）2018海岸清掃編・植樹体験編の活動記録パネルを展示することで、青森市民のみならず青森県内外の観光客に対し、むつ湾の環境や生態系、漁業資源などを紹介する機会となった。また、活動参加者が楽しみながら海について学ぶ様子を広く周知する場を設けたことで、活動に参加していない市民にも海に関心を持ってもらう機会となった。



むつ湾グルメコーナーの様子



むつ湾グルメコーナーの様子

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。



出張水族館の様子



出張水族館の様子

むつ湾沿岸8市町村や浅虫水族館と連携し「むつ湾グルメコーナー」や「出張水族館」も同時に開催し、むつ湾の認知度向上に繋がったほか、各市町村等とネットワーク体制を確立することに繋がり、青森の豊かな海を次世代に引き継ぐ重要性についてコンセンサスが得られた。



放流するキツネメバルの稚魚



放流するキツネメバルの稚魚



クルーザーヨットによるキツネメバルの稚魚の放流の様子



クルーザーヨットによるキツネメバルの稚魚の放流の様子

むつ湾の水産資源を増加させるため、クルーザーヨットに乗船し沖合でキツネメバルの稚魚を放流した。本活動を通して、地域の重要な産業となっている漁業に対する理解を深め、また子供達が直接稚魚を放流することで、栽培漁業を学びながら海や生き物などへの関心を高められた。

4. 活動状況紹介

【開催日時】平成30年10月1日（月）～平成31年2月28日（木）
9：00～17：00

【開催場所】青森市八甲田丸船内

【参加者数】15,334人

【活動内容・目的】

- 船内に海の勉強会（うみべん）2018海岸清掃編・植樹体験編の活動記録パネル展示とアマモ・ワカメの生態系についての動画の放映を行い、八甲田丸を見学するお客様にむつ湾の環境や生態系、漁業資源などを紹介する機会となった。



活動記録パネルの展示の様子



活動記録パネルの展示の様子



活動記録パネルの展示の様子



動画放映の様子

活動記録パネル展を通じて、海の勉強会（うみべん）に参加した子供達が楽しみながら地元の海について学ぶ様子を広く青森市民に周知することができたほか、活動に参加していない子供達にもこれらの活動を知ってもらい海への関心を持ってもらう機会となった。

【事業全体のまとめ】

1. 今年度は3年間行ってきた海の臨海学校「むつ湾シーサイドスクール」の集大成と位置づけ、むつ湾沿岸市町村の今後の取り組みにつながるよう、海を通した海洋環境の勉強会（うみべん）を開催した。

結果、来年度以降はむつ湾沿岸8市町村による「むつ湾広域連携協議会」が本活動を引き継ぐことになり、本協議会の目標が達成された。

<参考>

むつ湾広域連携協議会の概要

（目的）協議会は、陸奥湾の環境保全、並びに陸奥湾の豊かな資源や美しい自然景観を活かした産業及び観光の振興を図ることを目的とする。

（事業）協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

（1）陸奥湾の環境保全意識の向上その他環境保全に関する事業

（2）・・・

※会則より抜粋

むつ湾広域連携協議会の会員団体

むつ湾沿岸8市町村と各市町村の商工団体、（公社）青森県観光連盟、
NPO法人青森県環境パートナーシップセンター

2. 本活動を伝える場を青函連絡船メモリアルシップ「八甲田丸」船内に設け、海の素晴らしさを実感できる情報発信拠点の形成を目指すことができた。
3. 2020年青森駅前干潟が完成予定であり、その干潟にさまざまな水産生物が生息するための海藻・磯場の造成や管理、環境美化のためのゴミ拾い、干潟を利用した街の賑わいづくりの活動を担う人材の育成にも繋がった。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 浅虫水族館	水族館内の解説 出張水族館
2. むつ湾沿岸8市町村	海の勉強会（うみべん）の活動連携 むつ湾グルメコーナーへの出店

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. なし	

以上